

## 「田検中学校の八月踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

宇検村立田検中学校

### 2 学年・人数

全校生徒 30 人，教職員 12 人

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

9月14日 17:30～ 田検中学校校庭にて

#### (2) 発表の日時・場所

9月23日 正午 田検小・田検中合同体育大会にて披露

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

#### (2) 由来

奄美大島では，集落（シマ）ごとに八月踊りが伝わっており，豊年祭や集落の行事などで，昔から踊られている。本校には6つの集落があり，集落ごとに現在でも踊られているが，それぞれリズムや振りが微妙に異なっている。高齢化が進み，文化の担い手不足が叫ばれている現在，未来を担う中学生が八月踊りに取り組むことは意義があるのではないかと考える。このような理由等により，本校の体育大会では毎年披露するようにしている。

#### (3) 構成等

毎年，3曲程度を練習し，本番で集落民の皆さんと一緒に踊りを披露するようにしている。校庭のフィールドに大きな輪ができて，生徒・保護者・地域住民と一緒に踊る姿は壮観である。

### 5 保存会や地域との連携の具体

校区内に6つある集落の中の4集落に年替わりで指導をお願いしている。教頭から，各集落の区長さんに指導依頼を行うようにしている。そして，練習当日に集落民の方に学校にお越し頂き，踊りの指導をして頂いている。年によっては練習に30人ほどの地域住民の方が来てくださることもある。本年度も練習段階から非常に盛り上がり行うことができた。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

練習の際には集落に住む生徒がチジン（太鼓）の担当を担い，練習の中で中心的役割を果たしてもらおうようにしている。生徒はリーダーとしての自覚も芽生え，また，それぞれの集落に誇りをもつことができると考えている。

## 7 取組の様子 【練習での様子】



## 【体育会会当日の様子】



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### ○教職員

奄美に赴任するまで、八月踊りの名前は聞いたことはあっても、実際に踊る機会はなかったので、新鮮な気持ちで楽しみながら踊ることができた。しかし、独特のリズムや振りがとても難しく感じた。このような伝統的な踊りが今でも受け継がれていることは、本当に素晴らしいことだと思うし、これからも引き継いでいくべき大切な文化であると思う。生徒たちとともに、伝統文化を学ぶ機会があったのは、自分にとっても幸運だった。これからもこのような機会を大切にしていきたいと思う。

### ○生徒

自分の住んでいる集落行事で八月踊りはよく踊っているが、違う集落の八月踊りを踊ったのは初めてだった。歌詞は同じだったりよく似たりしていると思うところもあったが、振りや言い回しが微妙に異なり難しさも感じた。でも、となりの集落なのに違いがあるのは面白いなと思った。みんなで楽しく踊ることができて本当によかったと思う。